

現下の雇用失業情勢 — 厳しさを増している —

- 完全失業率は、平成19年7月の3.6%から**4.8%**まで悪化。(2月は4.4%)
- 有効求人倍率は、平成19年6月の1.06倍から**0.52倍**(2月は0.59倍)まで悪化。
- ハローワークを訪れる**事業主都合離職者**(新規求職者数)は、**前年同月比155.9%の増加**。

- 日銀短観(3月調査)の雇用人員判断(「過剰」-「不足」)は、全規模**製造業で過剰感が大幅に増加(+14→+38)**し、過去最悪。全規模**全産業でも過剰感が大幅に増加(+4→+20)**。

- 4月の倒産件数は、前年同月比9.3%増の1,329件。**11ヵ月連続前年同月比増加**。(東京商工リサーチより)

- 3月の雇用保険の受給資格決定件数は前年同月比82.4%増、受給者数は前年同月比で59.1%増の793千人と、それぞれ大幅に増加。

- 各都道府県労働局からの報告(4月)によると、昨年10月から本年6月における、非正規労働者の雇止め等は**3,253事業所、207,381人**(予定を含む)。

完全失業率と有効求人倍率の動向

